

2025年7月号  
令和7年7月16日

# 漁況情報・浜の話題

神奈川県水産技術センター  
企画研究部 046-882-2489  
相模湾試験場 0465-23-8531  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mx7/wadai/>



## 漁況情報

### 【6月】横須賀東部：アカモク漁期の遅れ

安浦～走水～観音崎～鴨居地区では、アカモクの漁期が遅れていました。また、通常とは異なる海域での生育がみられ、6月に入っても収穫が行えました。

## 浜の話題

### 【6月】三浦半島西岸各地：密漁対策

6月、三浦半島西岸各地の漁協は、共同漁業権漁場管理委員会、支所運営委員会及び理事会等で夏の密漁対策について打合せを行いました。各地で海水浴や磯遊び客が多く来訪する7～8月を中心に、密漁監視や来訪客への呼びかけを重点的に実施します。

貝類などの定着性の水産資源は、たとえ1人1個だけ獲ったとしても多くの来訪客が獲れば枯渇してしまいます。漁業者が魚介類を大切に守り育て、生活の糧として営む共同漁業権に基づく漁業に深刻な被害をもたらしますので、ご理解をお願いいたします。



密漁監視のイメージ

### 【6月】三浦：テングサ漁

6月になって、三浦市内の各地でテングサの刈り取りや天日干し作業が行われています。この船揚場でも漁業者が空模様を気にしながらテングサを広げていました。



天日干しされるテングサ

## 【6月2日】小坪：ハマグリ種苗放流

6月2日、小坪漁協は地先に、ハマグリ(チョウセンハマグリ)の種苗を放流しました。種苗は、(公財)相模湾水産振興事業団の支援により、5月30日に搬入されたもので(6月号【5月30日】)、その日は時化の為に実施が困難であったため、放流を延期していました。

また、漁場が隣接することから、湘南漁協葉山支所の職員が放流を見学し、小坪の漁業者と情報交換をしました。

## 【6月3日】長井、佐島：ヒラメ種苗放流

6月3日、長井町漁協と湘南漁協佐島支所は、三浦半島西岸の小田和湾において、(公財)神奈川県栽培漁業協会及び(一財)横須賀市西部水産振興事業団とともに、ヒラメの種苗をそれぞれ21,000尾及び11,200尾放流しました。

## 【6月8日】小坪：船上市場

6月8日、小坪漁協は逗子市観光協会と共催で、小坪漁港において、「船上市場」を開催しました。船上市場は、漁港岸壁に係留した漁船の上で、獲れたての魚介を漁業者が販売するイベントです。サザエや様々な種類の地魚が販売される中、大きなアオリイカとヒラメが目を引いていました。

逗子市観光協会 [https://www.zushitrip.com/spot/detail\\_123.html](https://www.zushitrip.com/spot/detail_123.html)

## 【6月9日】鎌倉、腰越：ヒラメ種苗放流

6月9日、湘南漁協鎌倉支所及び腰越漁協は、(公財)相模湾水産振興事業団の支援により、ヒラメの種苗をそれぞれ5,000尾及び10,000尾放流しました。放流は、鎌倉では砂浜で、腰越では船と岸壁から行われました。



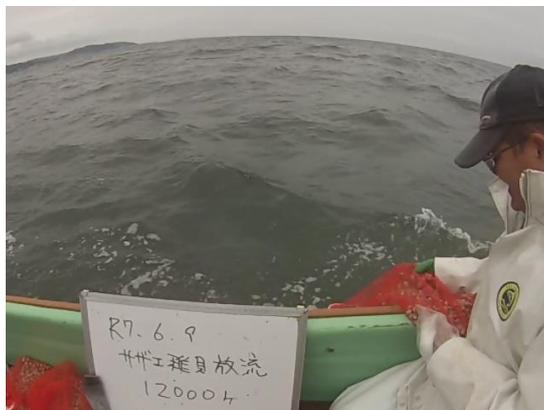
船からの放流(腰越)



岸壁からの放流(腰越)

## 【6月9日】鎌倉：サザエ種苗放流

6月9日、湘南漁協鎌倉支所は、(公財)相模湾水産振興事業団の支援により、12,000個のサザエ種苗を放流しました。



海藻の生える岩礁に放流

## 【6月10日】漁業士会：役員会

6月10日、かながわ県民センター(横浜市)で令和7年度第2回漁業士会役員会が開催され、漁業者交流大会、漁業士会総会等の議題について協議しました。

## 【6月10日】長井：トコブシ、サザエ放流

6月10日、長井町漁協は(一財)横須賀西部水産振興事業団の支援を受けて、サザエ種苗を約42,700個、トコブシの種苗を10,000個放流しました。

## 【6月13日】小網代：体験漁業(カキ養殖)

6月13日、日本さかな学校の学生さんたちが、みうら漁協小網代地区で牡蠣養殖の作業体験をしました。「うまかったです」「蒸しと焼きで食べました」「今磨いてる貝ももうすぐ食べられるかな」など、前回の作業後に試食した感想を漁業者へ話しながら、作業に取り組んでいました。



筏で籠上げ



出荷までもう一息！

## 【6月14日】城ヶ島：ウニ除去

三和漁協城ヶ島地区の漁業者が、市民ボランティアの協力の下、ウニ類の採集を行いました。採集されたムラサキウニは、今回も飼育試験用の材料として、水産技術センターへ寄贈されました。試しに割ってみたところ、消化管には海藻が多く見られ、生殖巣が黄色く色づいていました。



割ってみたところ

## 【6月17日】長井「福会」：当センター栽培施設見学

6月17日、長井町漁協のトラフグ漁業者のグループ「福会」が、当センターの栽培施設を見学しました。当センターの担当者からトラフグ種苗の飼育状況や自然海域での稚魚分布調査の説明を受け、放流等について意見交換をしました。



飼育状況の見学



稚魚分調査の説明を受け意見交換

## 【6月17日】西湘地区：ヒラメ種苗放流

6月17日、大磯二宮漁協、岩漁協、真鶴町漁協は、(公財)相模湾水産振興事業団と合同で36,431尾(大磯二宮13,151尾、岩10,480尾、真鶴町12,800尾)のヒラメ種苗をそれぞれの地先

漁場へ放流しました。また、同日に福浦漁協は1,500尾のヒラメ種苗を地先漁場へ放流しました。



かごに収めた放流前のヒラメ



ヒラメの放流

## 【6月17、18日】しらす協議会:県外視察調査

6月17、18日にかけて、しらす協議会は茨城県方面の県外視察調査を実施しました。三代漁網では船曳網に使われる新素材等、川上漁網では船曳網の仕立て、森幸漁網では様々な船具や新方式の刺網等について視察しました。また、鹿島灘漁協ではしらす船曳網漁とハマグリ貝桁曳を営む漁業士会の方々と茨城県の普及員にお世話になり、茨城県のしらす漁とハマグリ資源管理等について視察し、大洗町漁協では同漁協参事に説明頂き、活魚施設や漁協食堂「かあちゃんの店」等を視察し、とても有意義な内容の調査となりました。



三代漁網



鹿島灘漁協



大洗町漁協活魚施設



大洗町漁協「かあちゃんの店」



川上漁網



森幸漁網

## 【6月18日】小坪：テレビ放映

6月18日、小坪漁協の観光と連携した取り組みが、NHK 午後LIVE ニュースーンで紹介されました。番組では、「船上市場」(本号【6月8日】)「漁師タクシー」や「漁業を学ぶワークショップ」の事例が紹介されました。

漁師タクシーは、漁業と観光との組み合わせによって漁港の活性化と漁業者の所得向上を図る海業として、小坪漁師タクシーチーム(漁船による不定期運航者、実験参加の6つの漁業者)と逗子市市民協働部経済観光課(小坪漁港管理者)が実証実験を行っているものです。

漁業を学ぶワークショップは、子どもたちに海や魚の魅力を伝えたいと考えている、昨年に独立した青年漁業者 ダビデ丸(市川さん)が、魚食普及・食育に取り組んでいるものです(2024年10月号【9月25日】)

小坪漁師タクシー <https://kotsubo-fishertrip.com/>

逗子市 <https://www.city.zushi.kanagawa.jp/jigyosha/suisangyo/1004999/1011966/index.html>

## 【6月19日】小田原：ヒラメ種苗放流

6月19日、小田原市漁協、同刺網部会、(公財)相模湾水産振興事業団、(公財)神奈川県栽培漁業協会は、四者合同で、計46,000尾のヒラメ種苗を地先漁場へ放流しました。



放流前のヒラメ測定

## 【6月19、20日】城ヶ島：アイゴ捕獲

6月19、20日、三和漁協城ヶ島地区の漁業者が、藻類を食害する魚類の捕獲を行いました。

アイゴの捕獲尾数はやや少なめでしたが、大型のブダイも漁獲されました。磯に残存しているカジメなどの食害が懸念されることから、漁業者たちは引き続き作業を実施するとのことです。



前日に仕掛けた網を揚げます



アイゴやブダイ、タカノハダイが獲れました

## 【6月20日】葉山：「葉山うに」お披露目会

6月20日、湘南漁協葉山支所において、「葉山うに」のお披露目会が開催されました。「葉山うに」は、同支所の漁業者が養殖したウニを販売業者「くぼたマリンファーム」が品質管理をして販売するものです。

ウニは、磯焼け対策で捕獲したもので、漁港内で養殖しています。餌はワカメで、小さかったり汚れていたりして商品にならないものを集めておき、与えています。漁業者による天然ワカメの採藻漁業やワカメ養殖の採算性向上にも一役買っています。

くぼたマリンファーム <https://hayamauni.com/>



商品にならないワカメを餌用に干している様子(4月撮影)

## 【6月24日】神奈川県定置漁業研究会：総会

6月24日、神奈川県定置漁業研究会は小田原水産合同庁舎で総会を開催しました。コロナ禍後、初めての対面による総会でしたが、計24名の関係者が参加し、盛況な総会となりました。当日は水産技術センター相模湾試験場の研究員が「定置網漁業のスマート化の取組」について話題提供をしました。

## 【6月26日】金沢：ヒラメ・メバル種苗放流

6月26日、横浜市漁業協同組合金沢支所は、八景沖にてメバル3000尾、ヒラメ2000尾の種苗を放流しました。大きく育つように願いを込めて、横浜市金沢区の小学生徒128名が放流に参加しました。



インタビューをうける黒川支所長



船に乗って放流



ヒラメとメバルの種苗

## 【6月27日】平塚市漁協：ヒラメ種苗放流

6月27日、平塚市漁協は(公財)相模湾水産振興事業団、(公財)神奈川県栽培漁業協会、横浜ゴム(株)の支援を受けて、20,780尾のヒラメ種苗を放流しました。当日は地元小学生が課外学習で訪れ、杉山組合長が平塚の海や魚、漁業について説明され、遊漁船で種苗放流体験をしました。



組合長が学童たちに平塚の海や魚について説明

## お知らせ

### はまぐり、サザエ等を採らないでください

海水浴、磯遊び等で神奈川の海に来られる一般の方々には、はまぐり・アワビ・サザエ等の貝類、イセエビ、タコ、ナマコ等共同漁業権の対象となっている水産動植物を採らないでください。これらを採ると漁業権侵害となる恐れがあります。ほとんどの海域で共同漁業権が設定されており、漁業者は生活の糧として、魚介類を大切に守り育てています。

県水産課

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/kb2/docs/yugyo/isoasobi.html>